

農業の魅力を生かした地域活性化を目指して

建設コンサルタント会社と建設会社、肥料メーカーの地元企業3社で設立されたアトレファームジャパン株式会社。

2月14日のバレンタインデーには、同社の運営する体験農園「みとか」が山県市にオープンしたばかりです。

農業の魅力を活用した地域活性化への施設の特徴や遊び方などと合わせて、

思いなどを聞きました。

農業の魅力を活用した地域活性化への

思いなどを聞きました。

農業の魅力を活用した地域活性化への

思いなどを聞きました。

地元企業3社のノウハウや技術を結集した体験農園

豊かな自然に恵まれた岐阜県山県市。この地域に、2月14日のバレンタインデーから、カフェやマーケットを併設した新しい体験農園がオープンしました。同園を運営するのは、2019年12月に創業したアトレファームジャパン株式会社。岐阜市で建設コンサルタント株式会社と、揖斐郡揖斐川町に本社を置く西濃建設株式会社、山県市の肥料メーカーである

株式会社大雅の3社によって設立された新しい会社です。「全国的にもまだめずらしい、農地を核とした民間発案型の官民連携事業で、山県市とも協定を結んでいます」と話すのは、同社のmitoca事業部／ゼネラルマネージャーを務める若原雄一朗さん。昨年4月から造成工事をスタートし、施設の設計や各種の申請業務、土木工事、ハウスの設置など、3社それぞれのノウハウや技術を結集して整備が進められました。

配合土や液体肥料を使用。

さらに最新のデジタル技術を活用したスマート農業を融合させている点が特徴です。

いちごのハウスには温度計や湿度計、日射計、風向風速計などの各種計測機器が設置されており、それらの情報をコンピューターに集約。いちごの生長段

階に応じて設定した温度や湿度などに合わせ、屋根やサイドカーテンなどの開閉による温度調節が自動で行われます。また、光合成に必要な炭酸ガスや日射量に応じた液体肥料の供給なども、コンピューターがすべて自動制御。株式会

会社大雅の栽培技術と長年の実績に基づく経験値や厳密なデータにより、ハイクオリティーないちご栽培を実践しています。

ささらに山県の地にあっても違和感がないよう、昔ながらの農家の暮らしを表現したカフェや、農園

2月14日のオープンからは、まことにいちごの収穫体験がスタート。6月はいちご、6月～9月はブルーベリー、7月～10月はぶどう、10月～11月はさつまいもと、1年を通してさまざまな収穫体験が可能です。

農園の面積は、およそ3・5ヘクタールと県下でも最大級。12月～6月はいちご、6月～9月はブルーベリー、7月～10月はぶどう、10月～11月はさつまいもと、1年を通してさまざまな収穫体験が可能です。

木の優しい香りに包まれたカフェ「mitoca」ではさまざまなスイーツを用意



↑いちごの体験農園は、常時4品種以上のいちごを食べ比べできます



→ポット技術や情報通信技術などを生かしたスマート農業でいちごを栽培。なお、農園全体の面積は約3.5ヘクタール。ブルーベリー、ぶどう、さつまいも以外に、カフェで使われるレモンやいちじく、みかん、オレンジなども栽培されています

←同園で働くスタッフの皆さんと、アトレファームジャパン株式会社のmitoca事業部／ゼネラルマネージャーの若原雄一郎さん（左から2人目）。今後はJA岐阜や「FC岐阜」「岐阜スクワーブス」とのタイアップや、市内の業者との連携や商品開発なども計画中だとか

園名は「みとか」。漢字にすると「実と果」になり、果実を表しているだけでなく、「実を結ぶ」や「成果を上げる」など、さまざまなプラスの意味が込められています。

1次産業から6次産業まで1つの場所で行つていきたい

農園の面積は、およそ3・5ヘクタールと県下でも最大級。12月～6月はいちご、6月～9月はブルーベリー、7月～10月はぶどう、10月～11月はさつまいもと、1年を通してさまざまな収穫体験が可能です。

2月14日のオープンからは、まことにいちごの収穫体験がスタート。6月はいちご、6月～9月はブルーベリー、7月～10月はぶどう、10月～11月はさつまいもと、1年を通してさまざまな収穫体験が可能です。

木の優しい香りに包まれたカフェ「mitoca」ではさまざまなスイーツを用意

高校や大学などとも連携して地域を盛り上げていきたい

農園では研修や視察なども積極的に受け入れています。これは新規就農者に向けた技術継承と地域活性化を目指す取り組みの一環。今後は岐阜大学や岐阜女子大学、県立岐阜商業高等学校などとも協定を結び、農業や地域活性化などに興味を持っている生徒や学生に

ささい

なお、どうしても感染が気になるという人は、マーケットでいちごやいもを使つたスイーツなどを購入するのもおすす

め。自宅でゆっくりと完熟いちごやスイーツのおいしさを堪能できます。

農園では研修や視察なども積極的に受け入れています。これは新規就農者に向けた技術継承と地域活性化を目指す取り組みの一環。今後は岐阜大学や岐阜女子大学、県立岐阜商業高等学校などとも協定を結び、農業や地域活性化などに興味を持っている生徒や学生に

（ 3月から、16歳以上のカップルなど2人限定で、体验農園のナイター営業も実施します ）

営業時間：18:00～21:00（受付開始 17:30～、最終受付～19:45）
料金：一組5,500円（2人分のホットドリンク付き）

ナイター営業日は公式サイトを確認してください

体验農園みとか

<https://mitoca-gifu.com>

所在地：山県市小倉726-1 / 営業時間：体验農園9:00～16:00(受付開始8:30～、最終受付～14:45)、カフェ・マーケット8:30～17:00 / 定休：水曜 / 料金：体验農園大人2,200円、小学生1,800円、4歳以上1,200円(体験時間30分) / 預約方法：公式サイト、じゃらんサイト、電話より受付 / 問い合わせ：0581-78-5556(アトレファームジャパン株式会社)

（ 3月から、16歳以上のカップルなど2人限定で、体验農園のナイター営業も実施します ）

営業時間：18:00～21:00（受付開始 17:30～、最終受付～19:45）
料金：一組5,500円（2人分のホットドリンク付き）

ナイター営業日は公式サイトを確認してください



木の優しい香りに包まれたカフェ「mitoca」ではさまざまなスイーツを用意